

東近江市総合計画 目次

第1部 序論	1
第1章 計画の概要	2
第2章 策定の背景	4
第3章 まちづくりの課題	15
第2部 基本構想	19
第1章 東近江市の将来性	20
第2章 基本理念と将来像	22
第3章 将来人口の見通し	25
第4章 将来の都市構造	26
第5章 まちづくりの基本方針	29
第6章 シンボリックな施策	32
第7章 基本構想推進にあたって	34
第3部 基本計画	37
第1章 市民が主役となるまちづくり	39
1 市民主体のまちづくり自治システムの構築	41
2 地域の一体感を生む市民交流の推進	44
3 多様な交流活動の展開	46
4 お互いを認め合う人権尊重のまちづくり	48
5 一人ひとりが輝く男女共同参画社会の実現	50
第2章 人と環境にやさしいまちづくり	53
1 豊かな自然環境の保全・再生と活用	55
2 環境にやさしい循環型社会の構築	58
3 快適な暮らしを支える良好な住環境づくり	61
4 災害に強いまちづくり	64
5 地域の安全を守るまちづくり	67

第3章 誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	69
1 健康づくりの推進	71
2 互いに支え合う地域福祉の充実	74
3 高齢者福祉の充実	77
4 障害者（児）福祉の充実	80
第4章 次代を担う人材を育むまちづくり	83
1 安心して子どもを生み・育てられる環境づくり	85
2 教育環境の充実と青少年の健全育成	88
3 生涯にわたる学習機会の充実	93
4 地域文化の保存・継承と活用	97
第5章 地域の活力を生み出すまちづくり	101
1 新規企業の誘致と既存産業の活性化	103
2 地域資源を活かした観光交流産業づくり	105
3 多面的機能を有する農林水産業の活性化	108
4 にぎわいを生む地域商業の活性化	113
第6章 市民生活、地域経済を支えるまちづくり	115
1 道路ネットワークの充実	117
2 公共交通ネットワークの充実	120
3 情報基盤の拡充	122
4 計画的な土地利用・基盤整備の推進	124
5 河川整備、治山・砂防対策の推進	126
6 自然環境に配慮した上下水道の充実	129
第7章 シンボリックな施策	131
1 安全・安心の地域社会を築く「ひだまりプロジェクト」の推進	132
2 心豊かな文化都市をめざす「こだまプロジェクト」の推進	135
第8章 計画推進のために	137
1 市民とともに進めるまちづくり	139
2 効率的・効果的な行政経営の推進	141
資料編	145

東近江市の花と木



市の花

ムラサキ(ムラサキ科ムラサキ属)

古く万葉の時代に、蒲生野にて額田王が大海人皇子にあてて詠んだ「あかねさす 紫野行き 標野行き 野守は見ずや 君が袖ふる」。この歌の紫野はムラサキを栽培している野、標野は御料地であった蒲生野を指しています。

このように本市は万葉にゆかりがある土地柄であり、ムラサキは万葉の古代をしのぼせる花として全国的に有名でもあることから、希少種であるこの花が群生する風景がよみがえることを期待して選定されました。

市の木

イロハモミジ(カエデ科カエデ属)

イロハモミジはタカオカエデ、イロハカエデとも呼ばれ、社寺境内や庭園などに広く植栽されています。

紅葉の季節は大変美しく、市内でも大本山永源寺や百済寺、紅葉公園など、県内はもとより京阪神・中京方面からの観光客でにぎわいます。

市民に親しまれていることや、この木の持つ美しさ、また、この木を活用した観光の活性化など、本市を象徴するにふさわしいことから選定されました。

